



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2018年8月号（560号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・社会司教委員会	3
・カリタスジャパン	5
・正義と平和協議会	7
・部落差別人権委員会	7
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク	11
・HIV/AIDS デスク	13
・中央協議会事務局（総務）	14

常任司教委員会

■6月定例常任司教委員会

日 時 2018年6月7日（木）10：00－14：00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 6人

報 告

1. 枢機卿任命について

教皇フランシスコは、聖霊降臨の主日の5月20日（日）正午に行った「アレルヤの祈り」を祈る際、6月29日に枢機卿に親任する14名の新枢機卿を発表した。日本からは、大阪教区の前田万葉大司教が選出された。

2. 第24回日韓司教交流会司教準備会について

2018年5月21日－22日に開催された、第24回日韓司教交流会司教準備会で確定した事項が以下のとおり報告された。

第24回日韓司教交流会

開催日程 2018年11月13日(火)－15日(木)

場 所 韓国・議政府(ウジジョン)教区

テーマ 「青少年たちの現実と司牧の展望－AI時代を迎えるにあたって－」

3. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地 功大司教から報告された。5月31日現在のカリタスジャパンへの募金は、863百万円、国際カリタスからの募金が1,794百万円で計2,657百万円、援助金支出は、2,188,543,911円となった。

審 議

1. 2018年度第1回臨時司教総会内容確認について

本年7月9日－13日開催予定の2018年度第1回臨時司教総会の内容として提出されている報告事項と審議事項を確認した。

2. 教皇庁教理省からの書簡への対応について

教理省から発表された「カトリック教会の司教たちへの書簡“Placuit Deo”－キリスト教の救いのいくつかの側面について」に掲載されたキリスト教信仰の重要ポイントを司祭や信徒が理解できるようにするための対応として、まず司教たちがこの書簡内容を理解するために、P.D.検討特別委員会を設置し、2019年2月の定例司教総会で司教たちが学ぶことができるよう、準備を進める。なお、同特別委員会の委員長を梅村昌弘司教に依頼し、委員の人選を一任した。

3. FABC 奉獻生活局と教育・信仰養成局からの研修会参加要請について

FABC 奉獻生活局と教育・信仰養成局の共同開催により、2018年9月24日－28日にタイにおいて開催される「アジアにおけるカトリック学校」に関する会議参加者を司祭、奉獻生活者、信徒各1名ずつとし、候補者の選出、打診、確定を学校教育委員会に依頼した。

4. 2019年祈祷の使徒「日本の教会の意向」について

5月常任司教委員会での諸意見を加味して修正を加えた2019年祈祷の使徒「日本の教会の意向」を承認した。

5. 「焼き場に立つ少年」のカード作成と配布について

フランシスコ教皇が頒布を勧められた「焼き場に立つ少年」の写真をカードにして中央協議会から発行し、全国の教会に頒布することを承認した。なお、印刷部数は20万枚。無料にて各教区事務局に送付する。

6. 広島教区内で立ち上げた「明治初期・津和野の証し人－広島教区列聖推進協議会」の全国規模の募金について

広島教区内で立ち上げた「明治初期・津和野の証し人－広島教区列聖推進協議会」が、その会員を全国規模で募集し、会員以外からも募金を行うことを承認した。

7. 第27回世界病者の日大会への参加について

2019年2月9日－12日にインドのコルカタで開催される第27回世界病者の日(テーマ「ただで受けたのだから、ただで与えなさい」〈マタイ 10・8〉)の案内については、各司教に送付するとともに、日本カトリック医師会、日本カトリック医療施設協会、日本カトリック看護協会、日本カトリック障害者連絡協議会に通知する。

8. 教皇庁福音宣教省からの財務監査制度に関する問い合わせにあたっての日本の教会としての対応について

教皇庁福音宣教省からの要請である「財務監査制度」導入に関する各教区への対応については、7月の司教総会での司教たちの話し合い後に検討を行う。なお、福音宣教省への回答案については、7月の常

任司教委員会で検討できるよう、財務部で準備を行う。

9. 2019年度の教区分担金算出方法について

2019年度の教区分担金算出方法を従来通りの基準（100円/信徒）とし、2018年度第1回臨時司教総会に常任司教委員会から提案する。

10. 2019年WYDパナマ大会のための募金について

2019年1月22日～27日にパナマ共和国で開催される第32回ワールドユースデーパナマ大会支援のための全国規模の募金活動を承認した。

11. 2019年度日本カトリック司教協議会年間行事日程案作成について

①2019年度の定例司教総会、臨時司教総会（第1回、第2回）の日程案を以下のとおりとし、2018年度第1回臨時司教総会に提案する。

2019年度定例司教総会 2019年2月18日(月)～22日(金)

2019年度第1回臨時司教総会 2019年7月8日(月)～12日(金)

2019年度第2回臨時司教総会 2019年12月12日(木)

②2019年4月～2020年3月までの常任司教委員会の日程を確定した。

③2020年2月の定例司教総会日程案を以下のとおり申し合わせた。

2020年度定例司教総会 2020年2月17日(月)～21日(金)

12. 中央協議会発行出版物の企画承認について

出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。

書籍名 「若者と宗教」2017シンポジウム記録

内 容 諸宗教部門主催のシンポジウム「若者と宗教」2017年開催分の記録

社会司教委員会

■第16回社会司教委員会事務局会議

日 時 2018年5月9日(水) 16:00～17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

出席者 4人

報 告

1. 第15回社会司教委員会事務局会議(4月4日)議事録案の確認と承認
2. 司教団メッセージ「原子力発電の撤廃を」の展開の現状について
3. 正義と平和全国集会名古屋大会について
4. 「原子力発電の撤廃を」シンポジウムについて(8月12日、大分教区)
5. 『なぜ教会は社会問題に関わるのか Q&A』について

審 議

1. 司教のための社会問題研修会について
12月14日(金)～15日(土)に予定している。テーマは「改憲」について。具体的内容の検討を正義と平和協議会改憲対策部会に依頼している。
2. 気候変動・環境問題への具体的な取り組みについて
社会司教委員会で日本の教会として気候変動・環境問題にどのように取り組むことができるかの案を作成し、常任司教委員会に諮ることにした。

■第17回社会司教委員会事務局会議

日 時 2018年6月6日(水) 16:00-17:30
場 所 日本カトリック会館 会議室5
出席者 5人

報 告

1. 各種会議の議事録(案)の確認と承認
2. 司教団メッセージ「原子力発電の撤廃を」の展開の進捗状況について
3. シンポジウム「原子力発電の撤廃を」は、大分教区の平和旬間の企画に合わせて8月12日に行う。
4. 『なぜ教会は社会問題に関わるのか Q&A』の電子書籍化について
5. 「核兵器禁止条約への署名・批准を求める要望書」の送付について
6. 「出前研修」の申し込み状況について
7. 司教のための社会問題研修会(12月14日)について

審 議

1. 気候変動・環境問題の具体的な取り組みについて
気候変動・環境問題に教会全体で取り組むために、準備会を立ち上げる必要性が話し合われた。
2. その他
 - ①平和旬間「会長談話」のたたき台について
 - ②パウロ6世とロメロ大司教の列聖(10月14日)について
 - ③東京オリンピックに向けての対応について

■第93回社会司教委員会司教・秘書合同会議

日 時 2018年6月7日(木) 15:00-18:00
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 11人
欠席者 5人

報 告

1. 司教団メッセージ「原子力発電の撤廃を」の展開について
2. シンポジウム「原子力発電の撤廃を」について
8月12日(日)に大分教区の平和旬間の企画と合わせて3人の講師によるシンポジウムを行う。
3. 『なぜ教会は社会問題に関わるのか Q&A』について
すでに中央協議会のウェブサイトで全文ダウンロードが可能となっているが、スマートフォンなどでも読みやすくするように検討する。
4. 「核兵器禁止条約への署名・批准を求める要望書」の送付について
5. 第40回正義と平和全国集会名古屋大会の進捗状況について
6. 社会福音化推進部の中期総合計画について
7. 「出前研修」の申し込み状況について
大分教区、鹿児島教区から申し込みを受け付けた。
8. 各委員会、デスクより

審 議

1. 司教のための社会問題研修会について
2018年12月14日(金)9時から15時に、「改憲」をテーマに講師による話と分かち合いをする。

参加対象は全司教および社会系委員会の秘書、改憲対策部会のメンバーとする。7月の総会中に案内状を配布する予定。

2. 気候変動・環境問題への具体的な取り組みについて

常任司教委員会に司教協議会のなかに気候変動・環境問題準備会を設置するよう要望し、具体的な手順を提案する。

カリタスジャパン

■第3回啓発部会会議

日 時 2018年6月19日(火) 10:00-14:00

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 10人

報 告

1. 新委員紹介

さいたま教区のカリタスジャパン教区担当者変更に伴い、澤野耕司師が新委員として任命された。

2. 事務局報告

2018年4月から6月までの事務局の活動報告を行った。

3. 大分教区福祉塾報告

2018年5月18日-19日に大分県別府市で実施された大分教区福祉塾への参加報告を行った。

審 議

1. 排除の実例の活用について

寄せられた排除の実例を、分ち合いなどに生かせる資料としてまとめる。

2. 長崎教会管区セミナー

テーマ 「排除のない多様性社会をめざして」

日 時 2018年10月6日(土) 9:00-17:00 (詳細は次回検討)

場 所 美野島司牧センター (福岡市)

次回日程 2018年8月28日(火) 10:00-14:00 日本カトリック会館

■第3回援助部会会議

日 時 2018年6月19日(火) 14:00-17:15

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 10人

報 告

1. 前回参加を承認したカリタス中央アジアパートナー会議(6月25日-29日、モンゴル・ウランバートル)は不参加となった。

2. 海外会議・視察報告

(1)スリランカ視察(5月8日-17日)

カリタススリランカと今後の支援の方向性について協議した。キャンディ教区カリタスとの直接支援は終了し、今後はカリタススリランカを通して支援していく。

(2)キルギス視察 (5月31日-6月10日)

現在支援中の事業を視察し、今後の支援の方向性について協議した。

(3)カリタスアジア年次総会 (6月11日-13日)

年次総会に先立ってパートナーフォーラムが行われ、基調講演や各国からの報告などがあつた。総会では、議事録の承認、分担金の確認、次回臨時総会の日程確認が行われた。

3. 災害対応

(1)東日本大震災

募金収入、援助金支出についての報告、仙台教区サポート会議 (5月25日) の報告が行われた。

(2)大阪北部地震

6月18日に発生した地震について、教区担当者で連絡を取った。教区の状況が分かり次第対応を検討する。

4. 援助実績報告

審 議

1. 海外会議、視察

以下の会議参加および視察を承認した。

(1)アフリカ視察 (8月下旬) 日程など詳細は今後調整していく。

(2)国際カリタス本部プログラムに関するパートナー会議 (9月3日、イタリア・ローマ)

2. その他

(1)東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) 総会 (6月20日、東京)、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD) 総会 (6月26日、東京) への参加が承認された。

(2)「災害対応マニュアル」に関する意見交換や、災害対応体制の聞き取りを行うための教区訪問について承認された。

(3)定例全国教区担当者会議 (10月30日-31日) に提議するため、「国内援助の方向性」について意見交換を行った。次回継続検討し、会議に備える。

3. 援助審査 国内2件、海外2件を審査、承認した。

(1)福島外国人実習生・留学生支援ネットワーク「福島外国人実習生・留学生支援ネットワーク設立支援」緊急性を確認し、必要であれば一時的に対応するが、基本的には長期支援の方向で検討していく。

(2)ひちくボランティアセンター「2017年9月九州北部豪雨災害 日田市被災者への物資支援」
2,889,681円

(3)モンゴル「カリタスモンゴル事務局支援2018」25,000 USドル

(4)モンゴル「子どもセンター増設支援」25,000 USドル

次回日程 2018年8月28日 (火) 14:00-18:00 日本カトリック会館

■第3回事務局会議

日 時 2018年6月21日 (木) 9:30-12:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 8人

審 議

1. 排除 ZERO キャンペーンについて審議した。また、7月に招聘するカリタスウガンダのフランシス・ンダミラ師滞在スケジュールを検討した。

2. 外部加盟団体の行事への参加の決定・承認に関して審議した。

3. 2019年4月からの委員会・部会体制について話し合い、次回継続審議となった。

4. 10月の教区担当者会議準備に関して審議した。
5. 遺贈募金に関する方針を決定した。
6. 社会司教委員会の規約見直しについて話し合い、次回継続審議となった。

次回日程 2018年8月27日(月) 9:30-12:00 日本カトリック会館

正義と平和協議会

■事務局会議

日時 2018年5月31日(木) 10:00-15:00
場所 日本カトリック会館 会議室5
出席者 7人

報告

1. 憲法講演録と平和メッセージクリアファイルの配布状況
2. 安倍改憲 No! 3000万人署名の協力状況
3. 部会報告
改憲対策部会、平和のための脱核部会、死刑廃止を求める部会、活動状況報告
4. 日本キリスト教協議会平和・核問題委員会との核と沖縄についてのシンポジウムの進捗状況
5. 核廃絶に関する諸宗教対話国際会議(仮称)について

審議

1. 憲法講演録、クリアファイルの普及について
2. 事務所の資料、書籍整理、JP通信アーカイブ製作について
3. 気候変動についての取り組みについて、社会司教委員会の提案を検討した。

部落差別人権委員会

■シンポジウム

日時 2017年9月18日(月・祝) 14:00-17:00
場所 サクラファミリア(大阪市)
参加者 約50人

テーマ 「ハンセン病家族訴訟に学ぶ」

登壇者 ファン グァンナム 黄光男さん(家族訴訟原告副団長)、神谷誠人さん(家族訴訟原告側弁護士)、浜崎眞実師
司会 宮内陽子さん

■事務局会議

日時 2017年10月16日(月) 11:00-16:30
場所 日本カトリック会館 会議室5
出席者 6人

報 告

1. 2017 年度 4 回事務局会議（9 月 8 日）
2. 2017 年度第 3 回定例委員会（9 月 14 日）
3. 2017 年度シンポジウム「ハンセン病家族訴訟に学ぶ」概要報告
4. その他
 - ・司教総会、常任司教委員会、社会司教委員会について
2017 年度第 1 回臨時司教総会（9 月 25 日－28 日）、9 月臨時常任司教委員会報告（9 月 28 日）、
臨時社会司教委員会（9 月 26 日）、2018 年度日本カトリック司教協議会年間活動方針
 - ・大阪教会管区部落差別人権活動センター、大阪教区部落差別と人権を考える信徒の会
現在、部落差別人権活動センターは所長・主事ともに不在のため、大阪教会管区（5 教区）の担当者
で会議を開き今後の体制について検討する。

審 議

1. 秋季合宿
 - 日時 2017 年 11 月 3 日（金・祝）－4 日（土）
 - 会場 カトリック押切教会（名古屋教区）、
名古屋市西文化センター、あま市人権ふれあいセンター（愛知・あま市）
 - 解放ミサの主司式 平賀司教、共同司式 渡邊師
 - ・10 月 27 日（金）に、事務局の前川が早川 努師（名古屋教区）とともに関係者へのあいさつや会場の下
見を行う。
2. 2018 年度の計画、中期計画について
 - (1)2018 年の年間テーマを、「狭山事件」と「ハンセン病」とする。
「狭山事件」については、以下も計画する。
 - ①狭山集会の記事をカトリック新聞に掲載する。
 - ②再審が開始された場合に、シンポジウムの開催など速やかに行動するための準備をする。
 - (2)年間の行事
 - ①春季合宿
4 月 14 日（土）－15 日（日）、あるいは 3 月 21 日（水・祝）－22 日（木）に、狭山事件をテーマに埼玉
県狭山市で行う。部落解放同盟埼玉県連の小野寺書記長に講師、案内、会場の紹介などを依頼した。
 - ②シンポジウム
テーマはハンセン病。講師、開催日、会場などについて検討した。
 - ③全国会議 2018
講師、開催日、会場などについて検討した。
 - ④2018 年は、11 月に正義と平和全国集会があるため秋季合宿は開催を見合わせる。
 - (3)正義と平和全国集会名古屋大会
 - ・日時 11 月 23 日（金・祝）－24 日（土）
 - ・一日目は基調講演、交流会。二日目は 10 :00－16 :00 分科会、17:00 から布池教会でミサ。
 - ・分科会講師は森元美代治さん（NGO IDEA ジャパン理事長）に依頼した。
 - (4)資料・冊子の発行
 - ①『いのちへのまなざし』『差別』の項を読みやすくした冊子を発行する。
 - ②9 月 18 日のシンポジウムでの黄 光男さんの話
ニュースレターにシンポジウムの記録、話の要約を掲載する。
3. 2018 年度予算（案）について
予算案は承認され、委員長、秘書の捺印の後、10 月 19 日に一次予算（案）として提出された。

4. 定例委員について

現在教区担当者の中から各教会管区二人ずつ、計6人に委員になってもらっている。吉岡秀紀師がサバティカルに入ったため、大阪教会管区からもう一人の派遣を要請中。次回以降検討。

■秋季合宿

日 時 2017年11月3日(金・祝)13:30-4日(土)12:00、オプション参加 15:00 終了
場 所 カトリック押切教会、名古屋市西文化センター、あま市人権ふれあいセンター
参加者 27人

テーマ 「地域に生きる宗教者として部落差別を考える」
講 師 山崎鈴子さん(部落解放同盟愛知県連書記長)
吉田恭澄雄さん(部落解放同盟愛知県連合会・執行委員)
伊藤 修さん(真宗大谷派淳徳寺住職)

案 内 加藤賢治さん(部落解放同盟愛知県連合会・執行委員)

プログラム

- 一日目 「愛知の部落史・部落解放運動」 山崎鈴子さん
「製靴産業の歴史と現況」、ミニシューズの製作体験 吉田恭澄雄さん
二日目 「宗教者と差別 ～真宗大谷派の差別事件と、その取り組みを中心に～」 伊藤 修さん
あま市フィールドワーク
レンダリング(牛や豚などの食用以外の部位を活用し油脂などをとること)工場の見学など

■定例委員会

日 時 2017年11月29日(水)11:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 11人

報 告

1. 2017年度第3回定例委員会(9月14日)
2. シンポジウム(9月18日、大阪サクラファミリア)
3. 2017年秋季合宿(11月3日-4日、名古屋市、あま市)
4. その他
 - ・大阪教会管区部落差別人権活動センター
奥村 豊師(京都教区松阪教会)がセンター長に着任。
 - ・大阪教区部落差別と人権を考える信徒の会、各教区の報告
 - ・ハンセン病家族訴訟「ハンセン病家族訴訟を支える市民の会結成集会」(9月22日)
 - ・狭山事件の再審を求める市民集会(10月31日)、日比谷野外音楽堂(東京)
 - ・『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議(同宗連)報告
 - ・社会司教委員会秘書合同会議

審 議

1. 2018年度の計画について
(1)年間テーマ
1)狭山事件 再審へ向けての最終盤の取り組みを行う
①狭山現地学習(合宿プログラム)

②再審が開始された場合に備え、事前にシンポジウムなどの準備を行うことを11月9日の同宗連の企画委員会に提案したが、同宗連として事前に準備する予定はないとの結論が出され、行う場合はカトリックの独自の企画とする。

2)ハンセン病 2017年の取り組みの継続、発展を目指す。

①謝罪声明への取り組み ②家族訴訟の支援

(2)2018年度春季合宿

日 時 2018年3月21日(水・祝)－22日(木)

開催地 埼玉県狭山市「狭山現地学習」

講 師 小野寺一規さん(部落解放同盟埼玉県連書記長)、安田 聡さん(部落解放同盟中央本部)

会 場 検討中

・今回狭山事件を知らない人にも広めるために、若い人、学校関係者に丁寧呼びかけを行う。

(3)全国会議

開催候補 ①7月6日(金)－7日(土) ②6月22日(金)－23日(土)

会場候補 サクラファミリア(大阪市)

・全国会議の参加者だけでなく、公開の講演会、学習会を企画する。

(4)シンポジウム

テーマ(案) ハンセン病 謝罪声明、家族訴訟

講 師(案) 黄 光男さん(原告団副団長)、内藤雅義弁護士(東神田法律事務所)、浜崎眞実師

候補日 ①10月13日(土) ②9月8日(土)

会場候補 ①幼きイエス会ニコラ・バレ修道院 ②聖パウロ修道会本部修道院

③カトリック麴町教会ヨセフホール ④六本木フランシスカン・チャペルセンター

(5)第40回正義と平和全国集会名古屋大会

日 時 2018年11月23日(金・祝)－24日(土)

テーマ 共に生きる地球家族－今、問われるわたしたちの選び、わたしの決意－

二日目の分科会(時間帯 10:00－16:00、会場 名古屋教区内の小教区もしくは施設)

・部落差別人権委員会として以下の分科会を提案する。

分科会名(タイトル) 差別と向きあう－ハンセン病をとおして

形式 講演会、参加予定人数 50人

講師 森元美代治さん

(NGO IDEA ジャパン理事長、著書『証言・日本人の過ち－ハンセン病を生きて』など)

・講演内容はハンセン病に限定せず、現代の苦しみ、差別をどう乗り越えるかなど。

(6)入門的な資料・冊子の発行

『いのちへのまなざし』の「差別」(9ページ)の項を要約、抜粋せず文章を全文収録する。ルビやイラストを加えるなど読みやすいように工夫する。

(7)社会司教委員会の「出前研修」メニューに、以下の内容で提出する。

テーマ「なぜカトリック教会が差別・人権問題にかかわるのか～狭山事件への取り組みをとおして～」

講師 太田 勝師、根津正幸委員

2. その他

・「獄友」試写会

渡邊師が12月20日の完成試写会に参加。

・定例委員

吉岡秀紀師(大阪教区)の後任として奥村 豊師(京都教区)に打診する。

・定例委員会の司会・進行について

次回から委員が回り持ちで司会・進行を行う。

・ハンセン病家族訴訟の熊本地裁公判(12月4日)、支援する会

塩田 恵さん(さいたま教区信徒)が出席予定。

■事務局会議

日 時 2017年12月18日(月) 11:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 6人

報 告

1. 2017年度第5回事務局会議(10月16日)
2. 2017年度第4回定例委員会(11月29日)
3. その他
 - ・2017年度第2回臨時司教総会(12月14日)、司教のための社会問題研修会(12月15日)
 - ・助祭研修会(12月8日参加助祭6人) 社会系諸委員会、デスクのプレゼンテーションを行った。
 - ・宗教改革500年式典のため来日したドイツ司教協議会代表が社会福音化推進部を訪問した。
 - ・大阪教会管区部落差別人権活動センター 奥村 豊師(京都教区)がセンター長に着任。主事は不在。

審 議

1. 春季合宿(3月21日-22日、埼玉・狭山市)
テーマは「奪われた55年」とし、誰にでも起りえる冤罪事件というリード文を加え、ニュースレターNo.172にお知らせを掲載。「狭山事件を知らない人へも広める」ことを目標とする。
主担当 渡邊師、協力 塩田 恵さん、広川二六さん
2. 2018年度の計画について
 - ・シンポジウム 会場は打診中。構成・形式は検討中。
 - ・全国会議 開催日 7月6日(金)11時-7日(土)14時
会 場 サクラファミリア(大阪市)の会議室
2018年10月のシノドスのテーマ「青年」にあわせて若い人の参加を呼びかけたい。
BURAKU HERITAGE(部落にかかわる情報を発信しているウェブサイト)のメンバー(上川多実さん他)に連絡を取り、引き受けてもらえる可能性があれば、講師候補として定例委員に諮る。
3. 正義と平和全国集会名古屋大会
前回の定例委員会で、タイトル、講師などが決定済み。その他、詳細は来年以降に決定し実行委員会に提出予定。
4. 入門的な資料・冊子の発行
『いのちへのまなざし』『差別』の項の冊子以外に、部落差別人権委員会紹介のリーフレット(英語版、日本語版)の作成を検討する。
5. 出前研修について
2017年度と同じテーマ(なぜカトリック教会が差別・人権問題にかかわるのか～狭山事件への取り組みをとおして～)を、社会司教委員会へ提出。
6. その他
 - ・奥村 豊師(次期大阪教会管区部落差別人権活動センター所長)に定例委員を打診した。
 - ・同宗連の総会が、2018年4月17日に関口教会のケルンホールで行われる。

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

■事務局会議

日 時 2018年5月10日(木) 14:00-17:00
場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 5人

報 告

1. 正義と平和全国集会名古屋大会分科会について
2. 社会司教委員会「出前研修」の講師派遣について
5月8日(火)大分教区 喜代永文子
9月18日(火)鹿児島教区 中島幸子
3. 長崎教会管区教区担当者の集いについて
5月25日(金)、大名町教会(福岡教区)にて長崎教会管区の教区担当者が集まり、各教区の現状を分かち合い、課題を共有する。
4. 外部研修予定

審 議

1. フィリピン視察報告について
7月司教総会に向けてFABCの資料とフィリピン視察報告を踏まえ、6月末までに資料を作成する。
2. 今後の計画について
 - ・「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのマニュアル」の一部改訂を年内までに行う。
 - ・教区の相談窓口担当者向けのガイドラインを作成し、管区毎の研修会などを企画する。
3. 中央協議会内のハラスメント対応について
当デスクが協力できるかどうか、今後の方向性を探ることになった。

■事務局会議

日 時 2018年6月6日(水) 12:00-15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 5人

報 告

長崎教会管区教区担当者の集いについて

- ・長崎教区2人、福岡教区2人、大分教区3人、那覇教区1人が参加し、教区の現状と課題を共有した。
- ・相談窓口などの初期対応および教区間の情報共有が共通課題として出された。
- ・来年度の「性虐待被害者のための祈りと償いの日」は、それぞれの教区の実状に合わせて行うことを確認した。

審 議

1. フィリピン視察報告について
神学生養成ワーキンググループでは、6月12日の定例会議においてフィリピン視察の報告書の案を検討し、6月末までに報告書を完成させる。
2. マニュアル改訂について
 - ・マニュアル改訂ワーキンググループで刑法改正、対応委員会、第三者調査委員会の人選などの改定案について話し合い、6月12日の定例会議に提案する。
 - ・年内に、相談窓口のガイドラインを作成する。
3. 中央協議会内のハラスメント対応について
中央協議会内へのデスクとしての協力について意見交換を行った。今後、法人が実施するハラスメントに関するアンケート調査に当デスクが協力できる旨を伝えることを確認した。

■第46回定例会議

日 時 2018年6月12日(火) 14:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 12人

報 告

1. 社会司教委員会「出前研修会」講師派遣予定について
2. ウェブサイトの掲載内容について
3. 管区別教区担当者の集いについて

審 議

1. 神学生養成ワーキンググループ
7月の司教総会でのフィリピン視察報告(案)を確認し課題をまとめ、今後の手順について話し合った。
2. マニュアル改訂ワーキンググループ
修正内容についての意見交換を行った。今後6月末までに加筆修正を行い、年内までに改訂版の発行を目指す。
3. 2019年度事業計画について
「性虐待被害者のための祈りと償いの日」では、希望する教区にパンフレットを配布することや初期対応の研修会を管区レベルで実施することが意見として出され、継続審議となった。

HIV/AIDS デスク

■第3回 HIV/AIDS デスク会議

日 時 2018年5月31日(木) 16:00-18:00
場 所 日本カトリック会館 会議室4
出席者 8人

報 告

1. ホームページの更新について
デスクのホームページにサポーターが送ってくれた「すべての AIDS に苦しむ人々のための祈り」を載せた。「み言葉フォト」は2回更新した。
2. レッドリボンのロゴ・シール
5月中旬にレッドリボンのロゴ・シールが納品された。今後の啓発に役立てる。
3. ネクタイバーとピンタック
キーホルダーと同じようなレッドリボンのネクタイバーとピンタックの要望があり、製作する。
4. 正義と平和全国集会名古屋大会の広報について
A3二つ折りのちらしが完成した。デスクも分科会の広報に努める。
5. 第26回エイズキャンドルパレード(5月19日)
京都の御池鴨川南西河川敷から円山公園まで、河原町通りと四条通りをパレードした。後援団体として、デスクはパレードが通過する沿道の商業施設にレッドリボンの掲示を依頼したり、掲示箇所を確認したりした。悪天候の中、パレードした人は55人だった。
6. AIDS 文化フォーラム in 横浜「宗教とエイズ」(8月4日)の登壇者
2006年から毎年対談形式で行われているプログラムで、第13回の今年はカトリックからスダーカル・ヌカポグ師(ミラノ外国宣教会)、神道から三橋 健さんが登壇して、浄土真宗本願寺派僧侶の古川潤哉さ

んと対談する。

7. 啓発デザイン募集の発送について

5月28日(月)に、デザイン募集の要項をカトリックの中学高等学校、専門学校、児童養護施設に170通発送した。

8. AIDS文化フォーラム in 佐賀について

第4回のフォーラムが5月26日(土)–27日(日)、佐賀大学鍋島キャンパス(佐賀市)で開催された。

審 議

1. アジア・太平洋カトリック HIV/AIDS 連合会議7からの要請について

上記事務局の司祭から援助してくれる団体を紹介してほしいという依頼が来たが、日本では見つからない旨返答することになった。

2. ピン2種の献金額について

原価から計算して、ネクタイバーとタックピンの献金額について話し合った。

3. デスクの今後の長期優先事項と事務局について

カトリック HIV/AIDS デスクの存在は、エイズ啓発をしている関係団体には知れ渡ってきた。今後も国内のカトリック教会だけでなく、日本社会全般に向けて啓発活動を続ける。デスクの規約を作り、秘書の役割と事務局の業務内容を明文化する。

次回日程 2018年7月23日(月) 13:00–15:00 日本カトリック会館

中央協議会事務局

■総務

8月会議予定

28日(火)

カリタスジャパン援助部会

日本カトリック会館

カトリック中央協議会 「会報」 2018年8月号 (通巻560号)

発行日 2018年7月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457